

「結局、どう言う作品が生まれるかは、どう言う生き方をするのかにかかっている。」

この言葉を残した神田日勝（1937〜1970）は、32歳の若さで病没するまで、北海道の地において農業に従事しながら数々の作品を描いた画家です。東京で生まれた日勝が北海道へ渡ったのは、7歳のときのこと。第二次世界大戦の戦火を逃れるために一家で移住し、十勝地方・鹿追に入植、その翌日にこの地で終戦を迎えました。彼はここで荒地を開墾する厳しい生活を送

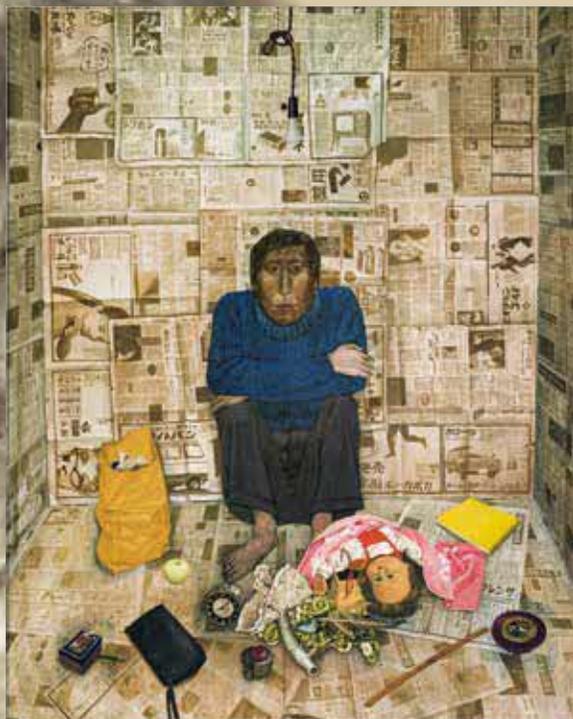


Kanda Nissho: A Retrospective

神田日勝 大地への筆触



りながら、次第に絵画への関心を高めていきます。18歳の頃から本格的な制作を始め、身近な事物を題材とした大作を手がけました。そして1960年に全道展、1964年には独立展に初入選するなど着実に評価を得ていきます。その後、画風は目まぐるしく展開していきますが、作品の多くは一貫してベニヤ板にペインティングナイフで描かれており、その力強い筆触は、大地を耕す営みを彷彿とさせます。神田日勝の没後50年の節目となる本年、代表作を一堂に会し、その画業を回顧します。さらに最新の研究成果を踏まえながら、日勝に影響を与えた画家の作品もあわせて展示することにより、同時代の美術を咀嚼しながら制作に励んでいた、日勝の新たな一面もご紹介します。



関連事業

見どころトーク

講師=当館学芸員

日時=10月17日[土]、11月1日[日] 14時-(約40分)

会場=当館講堂(聴講無料)

定員=50名(先着順、開場は13時30分)

同時開催

近美コレクション

「ヴィジュアル・ガストロノミー」

アートギャラリー北海道

「太陽の森 デイマシオ美術館コレクション」

会場=当館展示室A

観覧料=一般510(420)円、高大生250(170)円

()内は10名以上の団体料金。

※65歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方などは無料。

高校生は毎週土曜日ならびに学校の活動で利用する場合は無料。

※芸術週間(11/1〜11/7)は全ての方が無料。

交通案内

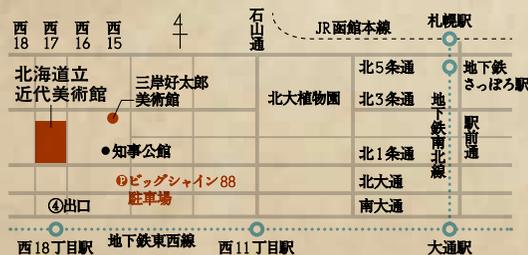
[地下鉄]東西線・西18丁目駅下車、④番出口から徒歩5分

[JRバス・中央バス]道立近代美術館バス停下車、徒歩1分

[駐車場]ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条西15丁目、当館から徒歩5分)を割引料金でご利用いただけます。

・「美術館利用者を対象とした割引」=駐車場入場から20分無料。当館の押印機で駐車券に押印してください。

・「障害者割引」=精算前に、ビッグシャイン窓口で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示すると、1時間無料。(上記2つの割引は併用不可)



- 1《ゴミ箱》1961年 個人蔵(神田日勝記念美術館寄託)
- 2《飯場の風景》1963年 神田日勝記念美術館蔵
- 3《静物》1966年 神田日勝記念美術館蔵
- 4《画室E》1967年 帯広市教育委員会蔵(北海道立帯広美術館寄託)
- 5《晴れた日の風景》1968年 神田日勝記念美術館蔵
- 6《室内風景》1970年 北海道立近代美術館蔵

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 | お問い合わせ=011-644-6882 | テレホンサービス=011-612-7000

ホームページ= <http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/> | <https://twitter.com/dokinbi> | <http://facebook.com/dokinbi>